



Micro Focus Server Express 5.0J

富士通 SPARC Enterprise 動作検証結果報告書

平成 19 年 4 月 18 日

マイクロフォーカス株式会社

1. 検証概要、目的及びテスト方法

1.1 検証概要

既に Sun SPARC Solaris 10 で動作保証されている Micro Focus Server Express 5.0J を、富士通 SPARC Enterprise 上で動作検証しました。

1.2 目的及びテスト方法

Micro Focus Server Express 5.0J は、現在 Sun SPARC マシン上の Solaris 8/9/10 で動作保証されています。富士通 SPARC Enterprise は、SPARC V9 アーキテクチャの最新 CPU SPARC64 VI を搭載し、オペレーティングシステムも同一の Solaris 10 が稼動していますので、Server Express 5.0J もそのまま動作するはずですが、今回、COBOL 言語の機能を網羅的に実行するテストスイートを実行することによって、このことを実際に検証しました。

テストスイートは、ANSI85 COBOL 構文を網羅的にテストするものを使用しました。これによって、COBOL コンパイラが使用するすべてのシステムコールを網羅できるので、万一 SPARC Enterprise 独自のアーキテクチャの非互換があった場合に検出できるものです。

2. 使用ハードウェア及びソフトウェア一覧

富士通 SPARC Enterprise M9000

SPARC64 VI 2.2GHz ×4, 8GB Memory, 74GB HDD ×2

Solaris 10 11/06

Micro Focus Server Express 5.0J

Sun Studio 11 C/C++ Compiler

3. テスト内容

AISI85 規格 COBOL の言語機能の網羅テスト

以下の試験項目を、.int コードと実行形式の両方で、32Bit、64Bit の両方について実行し検証しました：

中核 94 本、順編成ファイル 85 本、相対編成ファイル 35 本、索引編成ファイル 42 本、ソートマージ 40 本、プログラム間通信 47 本、組み込み関数 42 本

4. 結果

上記のテスト内容のすべてを実行し、問題は検出されませんでした。

5. テスト結果及び考察

富士通 SPARC Enterprise という高スケーラビリティの最新サーバー環境で、既存の Micro Focus Server Express 5.0J 製品を問題なく使用できることが検証できました。これをもって、弊社の正式な動作保証といたします。

また、Sun Microsystems 社製 SPARC Enterprise についても同様の動作結果になると考えます。

以上